

東京都の所有者変更届出書

第9号様式 第7条関係

### 所有者変更届出書

登録証記号番号	内 容	旧所有者の 住所氏名	
東京都 第 号	種 別 長さ(全長) cm 反り(裁身長) cm 目くざ穴 (口径) cm		平成 年 月 日
交付年月日 昭和・平成 年 月 日	目 文 (表) 目 文 (裏)	譲り受け又は相続に より取得した年月日	

上記の 刀 剣 類 を 譲り受け  
火縄式銃砲等の古式銃砲を 相続により取得し  
たので届け出ます。

平成 年 月 日

郵便番号 都道府県 住 所

氏 名 ( )  
電 話 ( )

東京都教育委員会 殿

※ この届を提出する際には、登録証のコピーを添付してください。

「登録証」の現状と課題

NEWS, TOPICS, INFORMATION, OPINION & EDITORIAL



刀剣商の近ごろの悩みと言え、景気の低迷や流通する商品の少なさなどいろいろあるが、「銃砲刀剣類登録証」も重大な問題の一つではなからうか。「登録証」の何が一番問題なのか。それは所有者変更届にある。

銃砲刀剣類所持等取締法第十

七条に「登録を受けた銃砲又は

刀剣類を譲り受け、若しくは相続により取得し、……二十日以内(その旨を文化庁長官に届け出なければならぬ)とあり、銃砲刀剣類登録規則第九条には「法第十七条第一項の規定による届出は、譲受け又は相続による取得の場合にあつては第五

号様式の所有者変更届出書により、……しなればならない。」とあって、届出が義務づけられているのである。

所有者変更届は、直接には都道府県教育委員会に提出する。刀剣の場合、規則に従い、登録番号、種別、長さ、譲り受け又は相続により取得した年月日、

旧所有者の氏名などを所定の様式に記入して郵送すればいい

ではないかと思うだろうが、それだけでは済まない。都道府県ごとに届出書の様式が異なり、従って手続きも変わっている。揭示した東京都の様式では規則第五号様式よりも詳細な情報

登録事務等処理要項に基づき、一カ月ほど経過し連絡がなければ変更手続きは完了したものと理解しているが、万が一「届出内容が登録原票と一致しない」などと連絡があったら大変である。現物確認審査を受け、それを基に登録証の訂正や再交付または新規登録をしなければならぬ。新規登録になると、場合によっては警察署に調査依頼をしたり、発見届までしなければならぬことになる。

なぜこんなことが生じるかというと、登録証に間違いがあるからである。現物と長さが違っていたり、銘文の書き漏れや読

2013.3.15 VOL.10

発行人 深海信彦  
発行所 全国刀剣商業協同組合  
〒169-0072 東京都新宿区大久保2-18-10  
新宿スカイプラザ1302  
TEL:03(3205)0601 FAX:03(3205)0089  
http://www.zentoshou.com

編集委員 赤荻 稔 朝倉 忠史 飯田 慶雄  
飯田 慶久 伊波 賢一 大平 将広 川島 貴敏  
齋藤 恒 嶋田 伸夫 清水 清儀 生野 正一  
新堀 賀将 高橋 正法 土子 藤弘 網取 讓一  
服部 暁治 深海 信彦 藤持 具宏  
宮澤 琢 冥賀 吉也 持田 具宏

み違いから単純な誤字・脱字が多い。「何で」と思うくらい間違いが多い。偽造や改ざんもある。現物確認審査を実施するのは、①現物と登録証が一致しない、②登録証または登録原票に作成時の誤りが発見された、③登録証と登録原票との記載内容に相違があるときで、その場合は、鑑定申請書と現物確認審査申立書に記入し、登録証(写)と茎の押形または写真を添付して提出する。

一月十五日公布、十一月二十日施行)に始まる。それまでは、連合国最高司令官の民間武器回収命令を完全に履行するための銃砲等所持禁止令により、銃砲火薬類及び刀剣類の所持が禁止され、「刀剣類で美術品として価値のあるもの」などが所持禁止の除外となっていた。すなわち、当初は地方長官(東京都は警視總監)から刀剣類所持許可証が交付され、名義変更さえ許されなかった(従って売買も)。取締令では銃砲・刀剣類の所持を原則的に禁止するものの、「文化財保護委員会の登録を受けて所持するとき」などは除外され、「美術品または骨とう品」として価値のある火なわ銃式火器」と「美術品として価値のある刀剣類」が登録の対象に明記されたのである。その後の銃砲刀剣類所持取締法(三十二年)、銃砲刀剣類所持等取締法(四十年)でも原則は踏襲されてきた。

収され、滅亡にさえ瀕しつつあった状況から救ったのだと聞かされ、「なるほど、そうだったのか」と納得したものである。しかしながら、あれから六十年以上、登録制度の見直しはほとんど行われてこなかった。その結果、指摘したような運用上の不具合が多々生じている。これは昭和の期間、所有者変更届が現実に行われず、規定が有名無実化していたことに原因があると思うのだが、いかがであらう。平成に至って、全国刀剣商業協同組合が主導して所有者変更届を出すようになり、登録証問題が一層如美になってきたのである。

また新規登録に際し、教育委員会との銃砲刀剣類登録審査会以前の、警察署における発見届現場での厳しい対応を指摘する向

所持の許可ではなく、ほとんどの刀剣を美術品と定義し、一振一振に登録証を発行し、国民の誰もが保有することのできるこの制度は当初、素晴らしいものだった。連合国側によって一律に武器とされ、戦利品として略奪され、あるいは無差別に接

また新規登録に際し、教育委員会との銃砲刀剣類登録審査会以前の、警察署における発見届現場での厳しい対応を指摘する向

これらの問題については、都道府県教育委員会、警察庁、日本美術刀剣保存協会、日本刀文化振興協会、全国刀剣商業協同組合などの関係機関が解決に向けて協力し、行動していく必要がある。わが組合と組合員は、最もかわりの深い当事者として、継続し取り組んでいきたいものである。(持田具宏)

- 第26回通常総会を5月17日に開催
- 来る5月17日(金)に第26回通常総会を開催します。本年度は役員改選があります。組合員の皆さまには何かとご多忙とは思いますが、ぜひご出席をお願いします。当日の進行と審議事項は下記の通りです。また、総会終了後には特別交換会も開催します。併せてご参加をお待ちします。
1. 開会の辞
  2. 出席状況報告
  3. 理事長挨拶
  4. 議長選出
  5. 議事宣言
  6. 資料確認
  7. 議案審議
- 〈第1号議案〉平成24年度事業報告承認の件  
平成24年度会計報告承認の件  
監査報告
- 〈第2号議案〉平成25年度事業計画案決定の件
- 〈第3号議案〉平成25年度収支予算案決定の件
- 〈第4号議案〉役員報酬の件
- 〈第5号議案〉経費の賦課および徴収に関する件
- 〈第6号議案〉平成25年度借入金残高の最高限度に関する件
- 〈第7号議案〉1組合員に対する貸付、または1組合員の為にする債務保証残高の最高限度に関する件
- 〈第8号議案〉役員改選
- 〈第9号議案〉その他
8. 総会議事終了宣言
  9. 閉会の辞



刀剣商業組合  
31万円を寄付  
明美ちゃん基金  
全国刀剣商業協同組合  
(深海信彦理事長)は8日、難病に苦しむ子供を救う産経新聞社の「明美ちゃん基金」に31万円を寄付した。この寄付は、昨年10月26、28日に港区新橋の東京美術倶楽部で開催された刀剣の展示即売会「第25回大刀剣市2012」に出店した組合員有志らから寄せられた。

深海理事長は、「わずかですが、組合員の善意の結集です。さらにこの輪を広げていきたい」と話した。同組合は、平成2年の「刀剣フェスティバル'90(現大刀剣市)」以降、「明美ちゃん基金」に毎年寄付を続け、累計約650万円に上っている。

写真左は伊波常務理事、中央新堀理事  
「産経新聞」二月九日



# 刀 剣 界

## 訪問購入にクーリングオフが適用。違反者は行政処分も！

### 特定商取引に関する法律の一部改正施行される

本紙第八号でお知らせした特定商取引の一部改正が、平成二十五年二月二十一日施行された。社会問題にもなった貴金屬類の押し買い被害に端を発した本件が、消費者保護の観点から特定商取引法に広がり、販売だけでなく買い取りにもクーリングオフ(契約決定後八日以内に取引差し戻し)が可能な法改正である。

まず、その買い取りが来店(持参)されたものか、訪問によるものか、に大別される。特定商取引は、訪問して消費者へ役務、商品の提供・受取を対象としているので、消費者の意思による来店取引、加えて業者間取引は、対象外となる。

この訪問の方法が、重要な訪問時、明確に商品名を「確定」し、査定金額に関わらず買い取りを希望する場合は対象外だが、実際商品を見ないと評価額は算出できず、「査定金額の結果を聞いてから、売却するかしないかを決める」との問い合わせには、査定行為が優先され同法の対象となる。

実際の刀剣訪問買い取りは、次の通りとなる。

①事業者名、対象の物品が「刀」であること、「評価および購入にきた」ことを宣言する。ここで宣言していない貴金屬が査定中に出てきても、買い取ることはできない。

②物品の種類、購入価格を入れた書面を提出する。書面には八日間のクーリングオフについての記載が必要。口頭の補足が奨励されている。

③もし査定額に同意いただけない場合、再勧誘は禁止。その場で、また後日の執拗な催促は厳禁である。

さらに売買成立(代金支払い)後八日間は、たとえ搬出されたものでも、費用請求なしに解除・返却希望に応じなければならぬ。この八日間は、意思表示からなので、中止要請が郵送できた場合、記入投函日から有効となるため、実際は数日増えるだろう。八日以内に店頭や市場で第三者に販売する場合、期間内に返品要請の可能性を売りに先に示す義務もある。

なお、次の物品は消費者が利益を損なわない、また流通が著しく害される恐れがあるとして除外された。自動車(二輪を除く)、アンティークを除いた家具、大型家電、書籍・CD・DVD、有価証券(商品券)。

また、消費者が「金額にこだわらないので買い取りに来てほしい」と言った場合や、常連客(店舗で一回、店舗以外で二回以上)の取引が過去にある場合は適用に当たらない。

われわれは、鎧や槍などの大きな品物が除外されず、返品リスクがあることは残念であるが、美術品は過去にトラブルが記録されているようで、除外物件にはならなかった模様である。

なお本誌読者は、悪意のある訪問買い取りとは無関係だろうが、本件の罰則規定は、最高で三年以下の懲役または三百万円以下の罰金である。既に施行された同法は現在有効であり、注意が必要である。

詳しくは [www.no-trouble.jp](http://www.no-trouble.jp) で確認されたい。(伊波賢一)

詳細は、山手線新大久保駅最寄りの、築十五年ほどの堅牢な長谷工の施工による新宿スカイプラザ、一〇〇平方メートル弱のマンション兼事務所の購入に至ったわけだ。組合事務所機能のためだけに一〇〇平方メートルも要らず、その半分で十分だったが、交換市場の開催会場という予定もあったので、この広さでも足りないと思われたことであろう。

日に日に不動産相場が上昇する局面では、立地場所についての慎重な協議に割く時間も限られていたと思われる。バブルの真っ只中に購入したため、多くの企業と同様、組合は永くその不動産価値の下落に悩まされてきました。そして、借入金の返済も重くのしかかっています。

組合は市場交換会を毎月、夏も冬も休まず開催し、また一時期は月に二回開催していたこともあり、そうして得た歩収入のかんりの部分を、事務所購入借入金の返済に充ててきました。

不動産は「一に立地、二に立地」と言われるほど「場所」今風に言うところの「ロケーション」がすべてという感がありますが、反面「住めば都」も言い得て妙です。

大久保界隈は、組合事務所を開設したころに比べて、近年は韓流ブームの影響もあり、洗練されてきて活気があり、中年オバ様族だけでなく若い女性も大挙して押しかけ、コリアタウンと呼ばれるほどにハンゲル文字の店が激増しています。

組合事務所の資産価値も若干は上向き加減かなと、街を歩いて実感するのですが……。

現在、組合員から持ち上がった事務所移転の案も、美術商・刀剣商の活動拠点が都心のとりわけ交通の便のよい新橋周辺に集中しているため、大久保では不便で、イメージ的にもマイチということでしょう。

候補地としては、新橋・銀座・東京駅・神田・上野・浜松町・品川が挙がっています。いずれの地もJR、地下鉄など交通至便で、遠隔地からの飛行機・新幹線からのアクセスもよく、美術商に必須のクルマの駐車場も整備されています。

移転の方法として、物件を購入するか、賃借するかですが、対応して現在の組合事務所の処遇が浮上します。売却、賃貸し、そのまま保有などです。

下見した銀座・歌舞伎座裏手の物件などは次号以降で紹介できればと思います。

(服部晧治)

## 組合事務所の理想の立地場所は？

組合設立時の趣旨の一つに、「組合員のための刀剣会館を持つ」という目標がありました。会館というからは、こちんまりしたビルを想定していたと思われまます。

まだバブル景気の始まる以前でしたので、市場運営歩金や賦課金、寄付金などを集めれば実現可能な目標でした。けれどもその後の不動産価格の急騰によって、目標の修正変更を余儀なくされました。

そして、山手線新大久保駅最寄りの、築十五年ほどの堅牢な長谷工の施工による新宿スカイプラザ、一〇〇平方メートル弱のマンション兼事務所の購入に至ったわけだ。組合事務所機能のためだけに一〇〇平方メートルも要らず、その半分で十分だったが、交換市場の開催会場という予定もあったので、この広さでも足りないと思われたことであろう。

日に日に不動産相場が上昇する局面では、立地場所についての慎重な協議に割く時間も限られていたと思われる。バブルの真っ只中に購入したため、多くの企業と同様、組合は永くその不動産価値の下落に悩まされてきました。そして、借入金の返済も重くのしかかっています。

組合は市場交換会を毎月、夏も冬も休まず開催し、また一時期は月に二回開催していたこともあり、そうして得た歩収入のかんりの部分を、事務所購入借入金の返済に充ててきました。

不動産は「一に立地、二に立地」と言われるほど「場所」今風に言うところの「ロケーション」がすべてという感がありますが、反面「住めば都」も言い得て妙です。

大久保界隈は、組合事務所を開設したころに比べて、近年は韓流ブームの影響もあり、洗練されてきて活気があり、中年オバ様族だけでなく若い女性も大挙して押しかけ、コリアタウンと呼ばれるほどにハンゲル文字の店が激増しています。

組合事務所の資産価値も若干は上向き加減かなと、街を歩いて実感するのですが……。

現在、組合員から持ち上がった事務所移転の案も、美術商・刀剣商の活動拠点が都心のとりわけ交通の便のよい新橋周辺に集中しているため、大久保では不便で、イメージ的にもマイチということでしょう。

候補地としては、新橋・銀座・東京駅・神田・上野・浜松町・品川が挙がっています。いずれの地もJR、地下鉄など交通至便で、遠隔地からの飛行機・新幹線からのアクセスもよく、美術商に必須のクルマの駐車場も整備されています。

移転の方法として、物件を購入するか、賃借するかですが、対応して現在の組合事務所の処遇が浮上します。売却、賃貸し、そのまま保有などです。

下見した銀座・歌舞伎座裏手の物件などは次号以降で紹介できればと思います。

(服部晧治)

## 組合交換会の買い高制限を変更

全刀商市場運営委員会は、平成二十五年一月より買い高制限額を改定し、従来の五百万円から二百五十万円に減額しました。

二百五十万円というのは与信枠の意味なので、二百五十万円

を超える買い物のあるときは、超過分を当日現金決済すればよいわけです。

組合交換会取引の健全運営組合員の与信枠については、かねてより議論されてきました。

①現金取引にする、②交換会参

加者は保証金を積む、③連帯保証人制の導入、④担保の設定、⑤与信枠の引き下げ(買い高額の引き下げ)などの案が出たのですが、実施に至らないうちに昨年の多数の不払い事故発生という事態になり、組合は相当な被害を被りました。

他の交換会市場でも同様に甚大な被害を受け、取引条件が厳しくなっています。延べ払い月数が三月月から二月月へ短

(服部晧治)

美術刀剣・刀装小道具商

**やしま**

齋藤雅稔・隆久・隆洋

刀装小道具通信販売目録「やしま」  
年間10回発行予定  
購読料10回 2,000円(郵便切手可)

〒202-0022 西東京市柳沢6-8-10  
TEL 042-463-5310  
FAX 042-463-7955

岡山市北区平和町二一八  
TEL 〇八六一二二二二二二二九  
TEL 〇八六一二二二二二二二九  
TEL 〇八六一二二二二二二二九  
TEL 〇八六一二二二二二二二九  
TEL 〇八六一二二二二二二二九

**柳匠堂**

**柳村宗寿**

金工・刀身彫刻・修理・諸工作式

〒104-10061  
東京都中央区銀座二一四  
TEL 〇三三五四一八二〇九  
FAX 〇三三五四一八二〇九

**網取譲一**

代表

**福隆美術工芸**

甲冑 刀剣 刀装具 古美術 一般

埼玉県秩父市野坂町一十六六一  
西秩父駅連絡通路町久ビル内  
TEL 〇四九四一三三三〇六七  
FAX 〇四九四一三三三〇六七

**町田久雄**

刀剣古美術  
三峯美術店

大阪市中央区日本橋二一七一  
TEL 〇六一六六三二二二二二〇  
TEL 〇六一六六三二二二二二〇  
FAX 〇六一六六四四一五四六四

**大阪刀剣会**

**吉井唯夫**

美術刀剣、小道具、武器類の  
売買、加工及び御相談承ります





# 風向計

其之六

深海 信彦

三月に入り、安倍政権の経済政策、いわゆる「アベノミクス」効果によって経済諸指標に改善の兆しが見え始め、デフレ脱却の目安となる消費者物価指数を除いては、おおむね緩やかな景気回復路線をたどっていることが報道によって知られる。

回復を阻害するデフレに対しては、政府・日銀もやれることは何でもやるという姿勢を明確に打ち出し、二年ぐらいを念頭に置いて2%の物価上昇率達成を表明、このための大胆な金融緩和策を現実のものにするための施策が講じられており、景気転換への期待感が高まる一方である。

また、政府の発表する月例経済報告の景気基調判断は二カ月連続の上方修正となり、内閣府調査による全国の景況判断も平成十四年五月以来十年九月方ぶりに上方修正されるなどの明るい兆しである。

ニューヨーク株式市場はリーマンショック以前の高値を五年五月ぶりに更新している。リス十九年十月以来の高値を四年五月ぶりに更新している。リスクを抱えながらも今後は本格的な景気回復の到来時期の見定めが焦点となっており、企業経営者は業種を問わず、先行きに備えて重要な判断を迫られている昨今である。

さて、このような変革前夜の経済状況にあって、わが刀剣業

界のこの先数カ月はいかなるようになるのであろうか。どのような風が吹き、その風向きはどの方向に流れるのであろうか。誰もが関心の強いところであろうが、結論から言えば、二、三カ月では何の風も吹かず、業界のマインドこそ最悪の時期を脱したものの、株の値上がりや円安の恩恵に浴することは当分の間期待はできない。

確かに、IT関連、金融・為替関係、輸出入関連の大企業など、円安・株高を背景に莫大な利益を得た富裕層の消費が取り沙汰されているが、それらのマネーは高級時計や貴金属、高級外車、ブランド物やマンション、それに旅行などのレジャーには流れても、刀や鐔には直ちに回っては来ない。余ったお金でそのようなものを求める人たちは例外はあるにせよ、われわれの業界の顧客とはいささかタイプを異にするものである。刀剣や鐔を愛好する真の数寄者は、外見や外聞にはあまりこだわらない質実かつ賢明な思考の持ち主が多いからである。

しからば、いつ、どのような形でわが業界に景気転換の余波が到着するかを予測すると、約半年先の九月ごろにはやや兆しが見え始め、二年後の平成二十七年春ごろには異常な刀剣相場の下落状態から脱却する可能性がある。それも、刀剣業界内に何も起らないことが前提である。

ここまで書くに反論もあろう。刀剣の交換会などの取引相場は既に一割ぐらいは上がっているのではないかと。しかし、それは早計に過ぎると思われる。人の求めるものはどのような経済状況下においても高く、求めないものは安いという原理には変わりなく、良品が強含みで取引されていると感じられるのは今に始まったことではなく、それ以外のものは決して高くなっていない。

真の相場の鍵を握っているのは、ほかならぬ愛好家であって業者ではない。景気の影響が愛好家に及び、小売りにそれが反映されてこそ取引相場の上昇を見るのであり、あくまでも実需に基づく相場が真の相場であり、業界内で値上がりすることはない。あるとすれば過去に見てきたように、モノを資金化の具と考へての取引によるものである。このように、株価が値上がりしたから刀の価格も上がるといふことはなく、好況が定着、安定した後にはわが業界に反映されるのは過去の常とするところである。日本経済がデフレ脱却に手をこまねいていると同様に、刀剣デフレの解消にはまだ時間がかかることを知るべきであろう。

とは言え、約半年先の好転の可能性を予測させるに十分な業界の現在のムードはホンモノで、昨年までのような自信喪失感が蔓延していたときとは異なり、良いものが出たら買おうという眼の光が出てきたことは特筆に値するものがある。来るべき時への自身の備えを怠らないことが肝要であろう。

このように子や近親者を次々と下妻に配置するということは、関ヶ原合戦後の世情もあり、水戸

## 茨城県下妻市

### 歴史のあぜ道・下妻物語

赤荻 稔

私の住む下妻(しもつま)は関東平野のほぼ中ほどに位置し、東に霊峰筑波山を望む。歴史をたどってみれば、メインストリートとは言えないが、あぜ道程度のドラマは存在すると思う。

平安中期には平将門が辺り一帯を駆け巡り、「将門の乱」では当地も主戦場の一つであった。室町期には佐竹氏と盟約を結んだ多賀谷氏が勢力を振るい、六万石を有した。常陸府中(現在の石岡市)から早乙女・長宝寺一門を招き、甲冑・刀類を作らせたという。以降、早乙女家は幕末までこの地で作品を残している。

慶長五年(一六〇〇)関ヶ原の合戦時、多賀谷重経は佐竹義宣と行動を共にしたため、翌年下妻城と領地を没収される。以降、徳川家の時代となり、下妻にも変化が起きる。

慶長十一年、家康の十一男徳川頼房が十萬石を領し、下妻に封じられた。三年後、水戸に転じて徳川御三家の一つ水戸藩の祖となる。

下妻にはその後元和元年(一六一五)、家康の孫の松平忠正、同二年に家康の甥の久松松平氏定綱が入部する。更に寛永十年(一六三三)には、老中土井利勝が領している。

このように子や近親者を次々と下妻に配置するということは、関ヶ原合戦後の世情もあり、水戸

家・結城家とともに東北外様大名に対する備えとして重視されたものと思われる。また、この辺りは良質な米が豊富にとれ、さらに鬼怒川の水運の中継地として重要な地点であったことも要因となったと考えられる。



下妻から望むダイヤモンド筑波(下妻観光協会提供)



刀職紹介 第10回  
〈研師〉  
小野敬博さん

研師の小野さんは、昭和五十二年生まれの三十五歳。お父さまは前号で紹介した小野博樹さん、お祖父さまは重要無形文化財保持者(人間国宝)の故小野光敬先生です。物心がつくころから、自宅の細工場でお祖父さまと父さまのお父さま、そのお弟子さんが刀を研磨するのを目にする生活を送っていた敬博さんは、ご自分が研師になることを当然のように思っており、「自分にはこの道しかない」と決意され、高校を卒業と同時に博樹先生の元に入門しました。

その後、師父とともに仕事をされ、東京国立博物館の館蔵品の研磨修理や正倉院の全刀剣類のお手入れに従事しています。

また、公益財団法人日本美術刀剣保存協会が主催する第五十七回「刀剣研磨・外装技術発表会」では特賞の日本美術刀剣保存協会会長賞を受賞、ほかに優秀賞を二回受賞するなど優秀な成績を収めておられます。

敬博さんは、研磨を行う上で「お預かりした刀一振一振の持ち味が最大限に引き出し、また仕上げが可能な限り上品になるような研磨」を行うことを心掛けて、日々臨んでおられます。

研磨代金は、まず御刀を拝見してから、その状態に応じて決められるそうです。

連絡先 0251-00047  
神奈川県藤沢市辻堂六九二〇  
0466-3612284  
(川島貴敏)

刀剣・小道具・甲冑武具  
目白 飯田高遠堂  
代表取締役 飯田慶久  
〒161-0033  
東京都新宿区下落合3-17-33  
TEL 03-3951-3312  
FAX 03-3951-3615  
<http://www.iidakoendo.com>

(株)美術刀剣松本  
松本 富夫 義行  
〒278-0043 千葉県野田市清水199-1  
TEL 04-7122-1122  
FAX 04-7122-1950  
[www.touken-matsumoto.jp](http://www.touken-matsumoto.jp)

美術日本刀・鐔・小道具・甲冑  
日本の伝統文化を彩る  
JAPAN SWORD CO., LTD.  
(株)日本刀剣  
伊波賢一 Ken-ichi Inami  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-8-1  
TEL 03-3434-4321  
FAX 03-3434-4324

銀座 泰文堂  
〒104-0061 東京都中央区銀座4-3-11  
松崎煎餅ビル4階  
(株)銀座泰文堂 代表 川島貴敏  
TEL 03-3563-2551  
FAX 03-3563-2553  
フリーダイヤル 0120-402037  
<http://www.taibundo.com>

刀剣 高吉  
古名刀から現代刀、御刀のことならお任せください!  
連絡先 090-8845-2222  
代表者 高島吉童  
東京都北区滝野川7-16-6  
TEL 03-5394-1118  
FAX 03-5394-1116  
[www.premi.co.jp](http://www.premi.co.jp)



# 刀 剣 界

## コレクター紹介

### 中山 彬さん

●四十年のコレクションを一括寄付



昨年四月二十八日から六月三日まで、東京の練馬区立石神井公園ふるさと文化館(練馬区石神井町五二二一六)において三九六四〇六〇)においてコレクション展が開催された。その名称は「刀装具―中山彬コレクション―展」。

ある昼下がり、私は一枚のポスターに出くわした。それには鐔の写真が大胆に使われており、一目見て刀装具の催事であることがわかる。『刀剣界』の編集委員として活動している私は、全国の催事について比較的多くの情報を把握しているつもりだった。しかし、住まいの近くで行われるにもかかわらず、この展覧会についてはまさに寝耳に水。すぐに会場である石神井公園ふるさと文化館に連絡を取り、詳細な情報をお尋ねした。その日は、妻とおやつにジェラートを食べに行こうと約束を

んにお目にかかることができた。また、収集家として刀装具についての思いを語っていただき、「刀剣界」に掲載することも了承していただいた。

していたのだが、妻には謝って予定を変更し、すぐに見学にお伺いすることにした。

開放的な空間に多くの鐔や目貫などの刀装具が並び、簡単な刀剣・刀装具の解説パネルまで設置され、来館者にとって大変見やすくなりやすい展示がされていく。しかも入場料は無料。なんて来館者に優しい催事なんだ!と私は驚愕し、館長の渡辺美代子氏に話を伺った。

今からさかのぼること四十年、結婚のお祝いに岳父から短刀を贈られ、以来、中山さんは刀剣趣味の世界に足を踏み入れたという。刀剣の本を買い漁り、趣味を深めていったが、サラリーマンの中山さんには刀剣収集の敷居は高い。

その後、願いかなって中山さんに目撃された刀装具の美しさを伝える目的で開催したことを教えていただいた。

百二十点にも上る数の刀装具をすべて寄贈!! 私は再度驚き、それらを寄贈された中山彬氏なる方にぜひお会いしたいと思った。

最初のうちは次の購入のために下取りなども考えたが、中山さんには一点一点に思い出があり、それはやるまいと決意したそうだった。

その後、願いかなって中山さんに目撃された刀装具の美しさを伝える目的で開催したことを教えていただいた。

「コレクションが増えいくと一つの目標ができた。百点収集したら、本を出版することだった。しかし、それもなかなか難しかったので、先延ばしになっていた。気付くと定年を迎え、孫が小学校に通っていた。自分のコレクションをこれからどうしていくか悩んだ。売却したのでは、必死な思いで収集したコレクションがバラバラになってしまう。それはやっぱりしたくなかった。自分の集めた日本の伝統工芸を、多くの人に見てもらいたい―それが中山さんの真意だった。そこで、地元の練馬区に寄贈することにした。

寄贈するとき、区の担当者に「日本が誇る伝統工芸を、ぜひ広く伝えてください」と要望を告げた。それを受けた練馬区では、学芸員が刀剣・刀装具について勉強し、準備を重ねてきた。約一年をかけ、ようやくコレクション展開催にこぎつけた。

中山氏は言う。「これを機会に、若い世代が日本の伝統工芸の素晴らしさを知ってくれれば、私が収集したコレクションが生きる」と。素敵なコレクター精神に学ぶ点が多い。

中山氏は言う。「これを機会に、若い世代が日本の伝統工芸の素晴らしさを知ってくれれば、私が収集したコレクションが生きる」と。素敵なコレクター精神に学ぶ点が多い。

中山氏は言う。「これを機会に、若い世代が日本の伝統工芸の素晴らしさを知ってくれれば、私が収集したコレクションが生きる」と。素敵なコレクター精神に学ぶ点が多い。

## 松田刀剣が新御徒町に移転

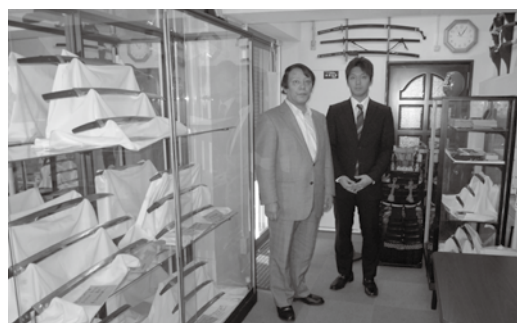
松田刀剣が上野刀剣会館から装いを新たに新御徒町にオープンしました。

「正真正正掘出し物を求めやすい価格で!」をモットーに、お店では常時三十振以上を陳列しています。いまだ自宅のある福島県楢葉町からいわき市での避難生活を強いられていますが、チ

ヤレンジ意欲は旺盛です。さらに、現在東京に在学中のご長男俊通さんも新御徒町店舗をサポートしてくれていますので、家族の絆を踏ん張りの源泉にして逆境を跳ね返しています。

松田さんにエールを送りに、ぜひ一度「松田刀剣」にお立ち寄りください。

住所: 〒110-0016 東京都台東区台東三三二-1 ☎03-6803-0818  
http://matsuda-touken.com/  
アクセス: J R線御徒町駅より徒歩約七分、東京メトロ日比谷線御徒町駅より徒歩約六分、つくばエクスプレス・都営大江戸線新御徒町駅より徒歩三分  
営業時間: 十二時~十八時(日曜・月曜は定休日)



店主の松田通夫さん(左)と長男の俊通さん

## 刀剣商リレー訪問⑩

### 玉山真敏さん

### 宗近の故地京三条での新たな挑戦

平安時代に今の日本刀の原型となる鎗造りの刀剣を製作した、伝説の小鍛冶三条宗近の舌

里、山城国京(現在の京都府)の三条栗田口に、祖父の代より刀剣界に従事し三代続く岡山



玉山名史刀と玉山真敏さん

の刀剣老舗「玉山名史刀」が新店舗を出店しました。店主は玉山真敏さん、三十一歳。

不安定な経済状況、先の読めない政局、そして若者の日本刀離れなど、刀剣業界の未来に思いを巡らすと、楽観的に構えてはいられない状況だが、玉山氏には、さまざまな時代の変化を乗り越え、今日に至るまで刀剣人が紡いできた日本刀文化の底力を信じ、新たな土俵で日本刀の保存と普及活動を行おうと、挑戦す

る姿勢が見られる。玉山氏曰く「日本刀を愛するすべての方が、国籍や身分など関係なく集い、交流し、研究する、愛刀家の憩いの場になればという思いで京都という場所を選びました。

年中観光客の多い、平安神宮と日本刀の伝説の地三条との交差する場所に、多くの先輩方のご支援とご縁を賜り、出店することができました。この場を借りて御礼申し上げます。

日本刀文化に馴染みのない方々でも歴史遺産の街京都を観光し、刀剣に目を向けていただくきっかけとなれば幸いです。これからも日本刀普及のため、全力を尽くしてまいります。」

■お店 〒605-0001 京都市東山区三条通白川橋東入二丁目西町一四九-1 ☎075-708-8210 (宮澤 琢)

## 全刀商の活動紹介 組合事務局

### 縁の下の力持ち

今回は縁の下の力持ち、組合事務局を紹介します。

が間違っている「など、困ったときに皆さんも手助けしてもらった記憶があることと思います。

また、一般の方々からの問い合わせへの一次対応や白刀保の「刀剣美術」への広告取りまとも、警察からの品触れ対応、そしてこの「刀剣界」の配布等々広範な業務をこなしています。

われわれの一大イベント「大刀剣市」が近づくと仕事は膨大に増えて、残業の日々になります。そんな慌ただしい毎日のお二人は、「私たちはいつも理事長や専務理事に判断を仰いで、その指示の下で動いているだけ

要望の多いわれわれ組合員のイベントが円滑に運営されているのは、この方々のおかげなのです。所有者変更届を送ってくれ(交換会 売買確認の記載

です。」「謙虚に語ります。一方で、「組合から届いた文書には必ず目を通してください。いつも約束事が守られないので確認や督促に骨が折れます」と、耳が痛い要望もありました。

お二人の苦勞が少しでも減るように、これから早めの対応を心掛けましょう。(松本義行)

お二人の苦勞が少しでも減るように、これから早めの対応を心掛けましょう。(松本義行)



組合事務局にて、有山さん(右)と小田島さん



# 若者広場

新堀 賀将

## メディアの力で 刀剣ブームを

刀剣ブーム。先輩方からそんな話を伺うと、とても驚愕することばかりです。例えば、パートで即売会を催したとき、開店前から長蛇の列ができ、オープンと同時に客が殺到し刀の取り合いも起きたとか。

かつてはそんな華やかで血気盛んな刀剣界でしたが、今はあまり若者はいません。刀剣愛好家にも、若者は数多くないと思えます。私事ですが、同級生や知人に刀剣商だと言うと、正直あまり良いリアクションを受けません。今はテレビなどで銃刀法違反のニュースが流れると、どうしても日本刀に悪影響が及びます。負のイメージが若者世代には大きく作用してしまっているからです。

メディアの力とはすごいもので、何の野菜が健康に良いとか言えば、次の日からその野菜が売り切れ状態に。その影響力はとても関心させられます。現在は、世界各国のお客さま

がとても日本刀に興味を持っていると思います。海外には私のような二十歳代で日本刀に興味があり、勉強をして刀の収集を始めた、重要刀剣を買ってくださったような方もいます。

なぜ海外には若者の愛好家が多いのか。海外メディアでは日本のご、刀、サムライ、アニメなど盛んに取り上げているようで、そういうところからも若者が自然と日本のものに興味を抱くようです。

日本でも日本刀の良いイメージを持ってもらうためには、やはりメディアの力が必要だと思います。そうすれば、きっといろいろな方が日本刀の魅力に興味を持つはずです。

私は今年刀剣商になって、第一步を踏み出したばかりです。これからの永き人生の中、ぜひとも国内外と刀剣界を盛り上げて、多くの方に知っていただき刀剣ブームを起させたらなと思います。



新堀賀将さん(左)と筆者

### ■筆啓上

賀将さんは昭和六十一年一月一日、新堀美術刀剣店主新堀孝道氏の三男として生まれた。現在二十七歳。昨年結婚し、新堀美術刀剣店の海外・インターネット事業を担当している。

弱冠十八歳にして刀剣の世界に飛び込み、筆者とともに都内の某刀剣店にて、修業という名の辛く厳しいシゴキを受けた。そして昨年初頭、ついに脱走を果たし現在に至る。

氏の人懐っこいキャラクターと元来の真面目な性格から、諸先輩に可愛がられながら刀剣道の道を邁進中である。

日本刀を愛し、妻を愛し、人を愛し、犬を愛する優しい人柄は商売にも表れ、常にお客さまに可愛がられ、また仲間にも愛される刀剣商である。

不遇な丁稚奉公時代を通して、古き良き伝統と、ある意味で閉鎖的なこの刀剣業界を、革新的で開かれた世界にするのを望む気鋭の人材でもある。(宮澤 琢)

### ●交換会紹介●

【西日本甲冑交換会】  
東京都渋谷区に本拠を置く日本刀旗谷の店主旗谷大輔氏が、岡山県で甲冑の交換会を開催している。

西日本甲冑交換会は、40年の長きにわたって開催されてきた老舗交換会だ。40歳と若い旗谷氏だが、昨年この交換会の会主に就任した。

40年続けてきた前の会主が、高齢を理由に会の終了を考えていたところ、旗谷氏はこの交換会を終わらせてはならないという思いから引き継いだのである。

旗谷氏の威勢のいい掛け声とともに、西日本甲冑交換会はさらなる発展を目指している。また、4月20日には東京グランドホテルを会場に大会開催を予定している。

例会は毎月20日。会場は、みのるガーデン(〒700-0904 岡山市北区柳町1-4-8-201)。

事務局=東京都渋谷区代々木4-22-11-1階 日本刀旗谷 ☎03-5350-8513

(宮澤 琢)



## 私が出会った珍品

### 〈杉山茂丸旧蔵の繁慶〉

脇指 銘 日本善清堯(花押)  
(繁慶初期銘)  
刃長一尺六寸九分 反りなし

江戸時代前期、武蔵国で活躍した野田繁慶の杉山茂丸氏旧蔵の作品である。

繁慶は三河の生まれで、野田善四郎清堯といい、元は徳川家抱えの鉄砲鍛冶であったが、元和二年(一六一六)家康没後、江戸に出て刀鍛冶に転じた。初代康継とほぼ時代を同じくし、江戸鍛冶の先駆者と言える。

本作は作域、健全さ、外装の三点に加え、伝来においても非常に珍しい作品である。すなわち、繁慶が鉄砲鍛冶から刀鍛冶に転じた初期の「清堯」銘の作品で、それだけでも滅多にお目にかかれない珍品であるが、目にかかれない珍品であるが、何とご覧の通り無反りの造り込みである。他に類を見ないこの体配は繁慶の作中でも異風中の異風であり、繁慶その人を示しているようである。一体いかなる事情で注文された作品なのか想像をかき立てられる。

また驚くべきことに、腰元には四センチ余に及ぶ長さな「初刃」が残されている。日本刀は製作時、鋼上数センチは刃がつかい、そこを初刃と言うが、後に数度の研磨を経て初刃は失われていってしまう。新々刀などにはわずかに初刃が残った作品をまれに見ることがあるが、四センチという長さは新作刀のようであり、まさに打ち下ろしのままだ現代に伝わった恐るべき遺作ということである。

筆者はこれまで健全に初刃を残した作品は現代刀以外では、国立博物館蔵の国宝・上杉太刀、同じく国立博物館蔵の重要文化財・北条の太刀という特殊な事情で奉納された二振を経眼するだけであり、本作にそれを見つけたときは、まさに鳥肌が立ったことをよく覚えている。

本作に付帯の変わり鞘には、「南無妙法蓮華経 甲寅之初夏 其日庵主人御手製」との文が厚手の金時絵にて記されており、これより本作が世に聞かされた親分なのである。

た戦前の著名愛刀家、杉山茂丸(号其日庵)の愛刀であったことがわかる。

杉山茂丸(元治元年一八六四)昭和十年(一九三五)は、明治から大正、昭和初期にかけて、幕末の坂本龍馬のような役割(自らは官職も議席も持たない在野の浪人でありながら、それぞれの時代の政界実力者と結び、国事に奔走)を果たし、「政界の黒幕」と呼ばれた大人物であり、同時に伊東白代治氏と並ぶ戦前の大愛刀家としても知られている。幻想作家の夢野久作は、その長男。

本間薫山博士はその著書の中で「一番お世話になった先生であり、刀屋は網屋こと小倉総右衛門を非常に可愛がり、また職人を非常に可愛がる人で、特に研師では平井千葉。私が学生時代に鍛えられた築地刀剣会(鑑賞会)にいつも鑑賞刀をお持ちになり、そうとうなコレクションであった」などと賞賛されている。戦後刀剣界の第一人者のまさに関分なのである。

その豪快な人物像を表す逸話には枚挙に遑がないが、一例を挙げると「所蔵した刀には必ず新規に拵をつけ、上等の研ぎをし、お化粧も文句のないような状態にして出す、それが愛刀家の心がけである」を持論とし、なぜ拵を付けるのか聞かれた際には「自分のうちの可愛い娘をひとさまの前に出すのに、着物を着せないで裸で出すことがあるか」と答えたというのは、氏の日本刀への深い愛情を示すエピソードとしてあまりにも有名である。

競うように拵を作った伊東白代治氏の拵は名物包丁正宗や重要美術品の相州広光など、今日でも拝見の機会はあるが、杉山氏の好みで製作した拵は現在そのほとんどが行方不明のままであり、本作はまさに珍品中の珍品である。

さすが一時代を代表する愛刀家の旧蔵品と敬服させられるとともに、江戸時代前期に製作された作品をたゆまぬ手入れにより、ここまで健全に保存した歴代所有者たちの愛刀精神に敬意を表し、私たちが後世にこの感動を伝えるべく、すべての作品を愛し、手入れ欠かさず大事に扱うことを肝に銘じたいものである。(飯田慶雄)



南無妙法蓮華経 甲寅之初夏 其日庵主人御手製

日本善清堯(花押)

刀剣・書画・骨董

# 和敬堂

土肥富作・土肥豊久

〒940-0088 新潟県長岡市柏町1-2-16  
TEL 0258-33-8510  
FAX 0258-33-8511

<http://wakeidou.com/>



ブック・レビュー BOOK REVIEW

柄巻師が書いた拵の掟と伝統技

『尾張拵・柳生拵』

坂入眞之 著 本体六〇〇〇円十税 里文出版

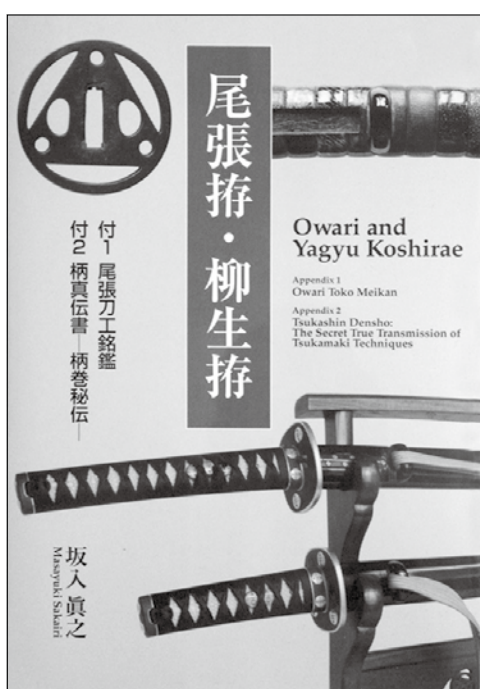
私が拵の勉強をしようと資料を探していたとき『刀剣美術』誌のバックナンバーに、著者の「尾張拵(合柳生拵)に就て―一柄巻職の立場から―」があることを知りまし

た。昭和五十六年の第二九七号(十月号)から第二九九号(十二月号)までの三冊を古書で見つけ、それをコピーして、毎日の通勤時間にすり切れるほど読んだことを思い出します。

この本では、尾張の刀装具の特徴がカラーで鮮明に余すところなく紹介されており、幕末の尾張拵の特徴(掟)が大変にわかりやすく解説されています。

刀の本は多いのですが、拵の本は少ないです。真の尾張拵・柳生拵を正確に後世に残し、伝えて行くことが大切だと教えられました。愛刀家、

この本のように、日本各地の「お国拵」(肥後・薩摩・加賀・水戸・庄内など)を紹介する本がもっと出版されてほしいことを願っています。(中村隆司)



著者「ちかひり・まわのま」号・柄巻(つかしん)。昭和二十二年四月愛知県生まれ。同志社大学法学部卒。中小企業診断士・不動産コンサルタント資格取得。公益財団法人日本美術刀剣保存協会無鑑査・講師。同評議員。

NEWS & TOPICS

NHK「サラメシ」研師編が全日空国際線で放映

NHK総合テレビの「サラメシ」は食傷気味の民放グルメ番組とは一味も二味も違うと人気だが、これに昨年、当組合賛助会員の研師・佐々木卓史さんの一門が取り上げられ、話題を呼んだ。

その番組が三月一日から一カ月間、全日空国際線の機内オンデマンド放送で放映されている。題して「人を育てるサラメシ」。

埼玉県三郷市にある佐々木さんの美術刀剣研磨所には現在水田吉政、相良雄一、アンドリユー・イクリンガルら住み込みの弟子のほか、通いの弟子もいて、梁山泊状態だ。で、今回の主役は、入門七年目の秋田勇喜君。彼のまかない役ぶりを中心に構成されている。

研磨の進歩とも相まって、彼の料理の腕前は近ごろとみに上がっているとか。番組でも魚の化粧塩などがさりげなく紹介されている。

師弟が仲良くちゃぶ台を囲む姿もほほえましい。「寝食を共にして生まれる信頼関係」「刀も料理も感性の世界」「仕事がうまくいかないとときはメシもま



佐々木師(左)と弟子たち(NHK提供)

ずい「仕事が出来るヤツは料理もできる」など、それぞれから名言がポンポン飛び出す。一般の視聴者からは、「建前ではない、伝統の世界の人づくりを垣間見ることができてよかった」などの反響も寄せられている。(T)

イベント・レポート

尾張徳川家の至宝

大大名の見識の深さに驚嘆する

正月九日、江戸東京博物館に行ってきた。今回の展示は、開館二十周年の記念特別展「尾張徳川家の至宝」である。

会場に一歩足を踏み入れた途端に、いきなり銀溜白糸威具足(徳川義直所用)が迎えてくれた。この展示会は、一尚武、二晴雅、別格とした至宝「源氏物語繪巻」「初音の調度」、三教養の構成になっており、いきなり尚武であるから、すぐに目的にたどり着く。

まずは国宝「来孫太郎作(花押)正応五年壬辰八月十三日」である。来孫太郎を来国俊として伝来している太刀だ。

続いて、次も国宝。金象嵌銘「正宗磨上本阿彌(花押)」(名物池田正宗)。次に村正、朱銘「兼氏(花押)」と来て、今回唯一の脇指「虎徹興里作 寛文五年三月吉日」。

これは今回初めて拝見する

が、大切先の長脇指で、いかにも刃味の良さそうな作品である。虎徹が虎徹になるのは寛文四年秋ごろからと言われているが、これは寛文五年と年紀を切っており、虎徹の初期作風と銘字の移り変わりを示す貴重な作品であろう。尾張家三代綱誠が注文し、寛文七年に買い上げたことが、尾張家の記録からわかるぞうだ。

それから、無銘保昌短刀(徳川家康所持)。最後に国宝「国宗」である。この国宗も素晴らしい。物打下の刃文などで、二重刃風で何とも言えない風情である。

刀はこれだけだが、この後に尾張家十四代帯用の大小拵。刀装具は、これも祐乗の丸木橋三所物を筆頭に、宗乗、乗真、光乗、徳乗の作品が展示されている。さらに火繩銃も、安永鋳鉄三重張「慶長拾六年十月吉日 日本清亮(花押)」と銘する繁

靖国神社遊就館特別展「奉納新春刀剣展」

恒例の奉納展と公開実演が初詣で客にも好評

一月一日から十四日まで、靖国神社遊就館にて特別展「奉納新春刀剣展」が靖国神社・全日本刀匠会関東支部主催で開催され、大盛況であった。

本特別展は、年の始めに際し、関東地区の刀匠約二十名が各々真心込めて打ち上げた最新作の刀剣を展示し、多くの方々に日本文化の粹たる名刀の輝きに触れ、わが国の伝統文化の美と聖

本展期間中には同時企画として、研師・鞘師・彫金師・刀匠らによる実技公開も毎年行われる。刀身の研磨、彫刻、鞘の製作、銘切りなどの秘技・実技が見られ、また希望者には甲冑の着付も体験できるとあって、多くの愛刀家や新年を祝う家族連れなどに楽しまれている(職方

慶の作がある。このほかにも、弓馬具、陣中道具、火事装束と展示が続く。それから、晴雅、至宝、教養と続くが、茶道、能、香道、琴、琵琶、三味線、囲碁、将棋、書画、古筆、それに源氏物語繪巻、初音の調度と拝見し、徳川時代の大大名の見識の深さをつくつくと感じさせられた。

最後に、教養のコーナーがあった、われわれにもわかるものを一点挙げておこう。新古今和歌集抜書、本阿彌光悦筆。光悦は、徳川・前田をはじめとする武家、近衛信尹・烏丸光広らの公家、茶屋四郎次郎・角倉素庵らの豪商などと交友を結び、刀剣の鑑定、書画は言わず、時絵や陶芸などにも秀で、芸術家・文化人として重きをなした。

こんな巻物が何気なく置いてあるところがすごい。(持田具宏)

により実演日程は異なる。今回は、実際に奉仕者として毎年参加している研師の藤代龍哉氏に現場の職人がどのような考えで参加されているのか、生の意見を伺ってみた。

Q:新春展覧会にどのような意義、目的を見出していますか?

A:日本刀を見たことのない方、知ってはいても鑑賞の仕方のわからない方などに、実演している仕事を通

←次ページに続く



東京国立博物館

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 ☎03-3822-1111(代表)

国宝 大神社展

日本人は古来、自然の中に人知を超えたものを感じ、山・岩・木など自然物の中に神を見出し、畏れ敬ってきました。やがて神々を祀る神社が建てられ、祭神の調度品である神宝や、祭神の姿を表した神像などが作られました。神社は、神聖な場所として尊崇され、神像や宝物が大切に守り伝えられてきました。この展覧会は、伊勢神宮の第62回式年遷宮を機に、神社本庁をはじめ、日本全国の神社の全面的な協力を得て、神社の宝物や日本の神々に関する文化財を総合的にご覧いただく、貴重な機会となります。

〈展観の構成〉  
第1章 古神宝  
第2章 祀りのはじまり  
第3章 神社の風景  
第4章 祭りのにぎわい  
第5章 伝世の名品  
第6章 神々の姿  
〈会期〉4月9日(火)～6月2日(日)  
月曜休館。ただし4月29日・5月6日は開館、5月7日は休館

公益財団法人日本刀文化振興協会

〒115-0044 東京都北区赤羽南2-4-7 鷹匠ハイツ301号 ☎03-5249-4440 URL http://www.nbsk-jp.org/

第4回「新作日本刀 研磨 外装 刀職技術展覧会」

公益財団法人日本刀文化振興協会は平成25年度の公益目的事業として、第4回「新作日本刀 研磨 外装 刀職技術展覧会」を開催します。本展は、大臣賞等をもって優れた作品を顕彰するコンクールと併せ、その成果を広く公開するものです。開催の概要は下記の通りです。  
名称：「伝わる技 伝える技」  
第4回新作日本刀 研磨 外装 刀職技術展覧会  
会場：大倉集古館

部門：作刀・刀身彫刻／研磨／刀装の3部門  
授賞：特別賞(経済産業大臣賞・局長賞など数点を申請)・日本刀文化振興協会会長賞・技術奨励賞・新人賞・功労賞・金賞・銀賞・銅賞・入選  
受付：4月15日(月)～18日(木) 大倉集古館にて  
授賞式：6月7日(金)または8日(土)を予定(後日決定)  
展示：6月8日(土)～7月28日(日)

公益財団法人日本美術刀剣保存協会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木4-25-10 ☎03-3379-1386 URL http://www.touken.or.jp/

平成25年新作名刀展

新作名刀展は、作刀、彫金および刀身彫刻等の伝統技術の保存と向上を図るとともに、愛刀家をはじめとした多くの皆さまに現代技術の優秀さを認識してもらうことにより、刀剣の文化財としての関心を高めることを目的としています。  
部門：作刀は「太刀・刀・脇指・薙刀・槍」の部と「短刀・剣」の部の2部門、および彫金の部(鐔・縁頭・小柄・拵・目貫)の全3部門。  
授賞：

正宗賞 賞金20万円および副賞特賞(協会会長賞等) 賞金10万円及び副賞  
優秀賞 賞金5万円  
努力賞 賞金2万円  
新人賞 賞金5万円  
受付：4月1日(月)～3日(水)  
表彰式：5月中旬の予定  
展示：5月14日(火)～6月16日(日) 刀剣博物館。以後、埼玉県・川越市立博物館、山形県・致道博物館にて巡回展示の予定。

春のよそおい～刀剣・刀装・刀装具にみる植物の意匠～

多種多様な刃文の中でも、日本刀の華と称される丁子刃。その形状が、香料や生薬として用いられる丁子に似ていることに由来します。刀剣ではその丁子の刃文に着目し、古備前物に見られる丁子刃の萌芽から新々刀期の作品まで、時代に合わせてさまざまに変化する丁子の形を紹介いたします。  
刀装・刀装具の世界では、古くよ

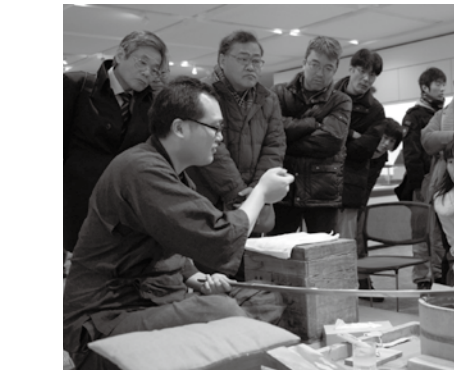
り身近な植物を意匠として多くの作品が制作されました。この度は新暦旧暦あわせて広義にとらえ、刀装・刀装具に表された麗しき春のよそおいをご覧ください。  
併せて、大隅俊平氏や米光太平氏など重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品もご鑑賞ください。  
〈会期〉1月5日(土)～5月12日(日)  
月曜休館(祝日は開館)

一般社団法人日本鉄鋼協会 総合企画部門 鉄鋼プレゼンス研究調査委員会「鉄の技術と歴史」研究フォーラム 「どのようにして古来製鉄法をプロセス工学的に解明するか」

日本鉄鋼協会「鉄の技術と歴史」研究フォーラムでは、日本古来の製鉄法と加工法の技術と歴史を世界史的・科学的に研究し、学問的課題の解明を目指すとともに、新たな鉄鋼技術のシーズを探求することを目的としています。  
一昨年、東日本大震災に見舞われた東北地方の震災復興支援を通して、製鉄遺跡関連遺物・遺跡のスラグ解析による実証的な研究、また、たたら炉操業での銑押しと鉤押しの実証的な研究に向けて、製鉄プロセスへの工学的アプローチの要望を会員および専門研究者からいただきました。これを受けて、本フォーラムでは、「鉄の歴史における製鉄プロセス工学研究会」を発足する運びとなりました。  
今回は、この「鉄の歴史における製鉄プロセス工学研究会」の発足を記念するとともに、会員各位よりのご賛同、また、ご助言を仰ぎたく講演会を下記により開催します。多数の方々のご参加を期待しております。  
〈日時〉4月27日(土)13:00～16:50  
〈会場〉千葉工業大学 津田沼キャンパス新1号棟3階大教室  
〈主な講演〉  
・鉄の技術と歴史研究フォーラムの鉄鋼プレゼンス研究開発委員会における役割と新研究会への期待 高橋礼二郎(元東北大学)  
・鉄鉱石から感じる鉄パワーの不思議 稲角忠弘(元新日本製鐵)  
・出土鉄滓の化学成分と平衡状態図の関係 天辰正義(元JFEテクノロジー)  
・プロセス工学的に見た古来の砂鉄製錬 板谷宏(元JFEテクノロジー)  
・鉄の歴史における製鉄プロセス工学研究会の背景と展望 松井良行(コベルコ科研)  
〈参加費〉(会場受付にて支払い)  
・講演会 2,000円(含論文集代) ・懇親会 3,000円  
〈参加申し込み〉FAXまたはE-mailにて4月19日(金)までに下記へ  
運営委員・松井良行  
FAX: 078-993-4403 E-mail: matsui.yoshiyuki@kki.kobelco.com



ずしりこれぞ匠の日本刀  
日本刀を手にとって輝きや重さを味わえる珍しい展示会が人気だ。唐拓堂ギャラリー(港区高輪3丁目)で開催中の「没後25年 刀匠小林康宏遺作展―古刀地鉄研究の到達点―」17日には直木賞作家の山本一力さん(64)も訪れ、その美しさに手を取り、美しい刃文(はもん)を見つめる山本一力さん(港区)。



お客さまとのコミュニケーションの場でもある公開実演(奉仕者は藤代龍哉氏)  
A: 初詣を終えてふらっと寄られる方が大半ですが、毎年わざわざ遠方から実演を見に来られる方もいます。私は入門してすぐから実演していたのですが、毎年来られる方に「おっ、去年よりだいぶ良くなったな」と言われたときは、去年の自分が恥ずかしいのと、褒めていただいたのが嬉しいのと半々で、思わず「ありがとうございます」と返事したのが思い出されます。その方はそれからもしばらく来てくださっていました。  
Q: 今後どのようなことをしていきたいですか?  
A: 特に小さい子供に見せたいのです。実演中でも子供が来たら、率先して日本刀の綺麗などころをアピールしています。  
Q: この催しに今後どんな効果を期待しますか?  
A: 日本刀のイメージを変えたい。それだけです。

Q: どのようなお客さまが来場されていますか?  
A: 今年はいかがでしたか?  
Q: 今年ここで実技奉納という形でやらせていただき、大変ありがたいと思っています。皆さん、ここが毎年仕事始めとなるので、気合が入っています。  
Q: 今後のようなお客さまが来場されていますか?  
A: 特別に小さい子供に見せたいのです。実演中でも子供が来たら、率先して日本刀の綺麗などころをアピールしています。  
Q: この催しに今後どんな効果を期待しますか?  
A: 日本刀のイメージを変えたい。それだけです。

古銭・切手・刀剣 売買 評価 鑑定  
株城南堂古美術店  
代表 田中勝憲  
〒153-10051 東京都目黒区上目黒四-1-10  
TEL 03-3771-0167  
03-3771-0168  
03-3771-0169  
FAX 03-3771-0167  
03-3771-0168  
03-3771-0169

- 〈研師〉藤代興里・藤代龍哉
- 〈鞘師〉水野美行
- 〈彫金師〉橋本秀巴
- 〈甲冑着付〉豊田勝彦・東郷隆
- 宮川正太郎・中谷正之
- 川崎晶平・下島房宙
- 石田國壽・工藤将成
- 高橋恒厳・森 充吾
- 吉田康隆・小澤茂範
- (飯田慶雄)

朝日新聞平成25年1月19日



# 刀 剣 界

## 催事情報

### ■備前長船刀剣博物館

〒701-4271 岡山県瀬戸内市長船町長船966 ☎0869-66-7767

#### 特別展「林原コレクション 聖地・備前長船の名刀展」

日本刀には1千年を超える歴史があります。大陸から伝えられた製鉄と鍛錬の技術をわが国独自に発展させ、各時代の刀匠たちが苦心惨憺の末に作り上げてきました。また、武士の魂とされ、実際に腰のものとして長く伝えられただけに、そのものの歴史にも興味が湧きます。

現在、国内に250万口の刀剣類があるとされる中、その半数が備前一国で作られたと言われています。また、国宝・重要文化財に指定されている刀剣類の約半数を備前刀が占めています。こうした刀剣王国の中心が備前長船であり、まさしく刀剣界における「聖地」です。

多くの名品を所蔵する林原美術館には、全国屈指の名刀コレクションがあります。中でも備前刀は8割以上を占めており、福岡一文字の吉房、備前長船の長光という2口の国宝をはじめ、古備前正恒、近包、一文字、助真、長船光忠、その他数多くの重要文化財や重要美術品を所蔵しています。

今回は、古刀史の中できわめて重要な位置を占める「長船派」にスポットを当て、国宝「長光」の太刀をはじめ、重要文化財の「光忠」など主要刀工の代表的な名品を厳選して展示し、その作風の流れを概観し、技と美の素晴らしさを十分堪能していただけるよう構成しました。

#### 〈展示内容〉

##### 第1章 名工集団・長船派勃興

- 太刀 銘 光忠 (重要文化財)
  - 刀 無銘 景秀
  - 太刀 銘 長光 (国宝)
  - 太刀 銘 真長
  - 太刀 銘 景光
  - 刀 無銘 伝兼光
  - 太刀 銘 倫光 (重要刀剣)
  - 太刀 銘 政光 (重要刀剣)
- ##### 第2章 他派の長船鍛冶
- 太刀 無銘 伝国宗 (重要美術品)
  - 短刀 銘 長義 (重要刀剣)
  - 太刀 無銘 元重
  - 刀 金象嵌銘 重真
  - 太刀 銘 盛景 (重要美術品)
  - 太刀 銘 家守 (重要刀剣)
- ##### 第3章 応永備前の長船鍛冶
- 脇指 銘 盛光
  - 太刀 銘 家助 (特別重要刀剣)



- 太刀 銘 康光
  - 短刀 銘 次光 (重要刀剣)
- #### 第4章 永享備前の長船鍛冶
- 太刀 銘 祐光
  - 刀 銘 則光
  - 刀 銘 重光
- #### 第5章 末備前鍛冶とその注文主
- 刀 銘 則光
  - 脇指 銘 右京亮勝光・左京進宗光
  - 短刀 銘 右京亮勝光・左京進宗光
  - 短刀 銘 政則 (重要刀剣)
  - 雑刀 銘 次郎兵衛尉治光・藤兵衛尉国光・与三左衛門尉祐定
- #### 脇指
- 銘 左京進宗光
  - 刀 銘 次郎左衛門尉勝光
  - 刀 銘 勝光
  - 槍 銘 忠光 (重要刀剣)
  - 刀 銘 治光
  - 刀 銘 五郎左衛門尉清光
  - 刀 銘 与三左衛門尉祐定(天正)
- #### 第6章 刀剣界受難と長船鍛冶の復興
- 刀 銘 七兵衛尉祐定(上野大掾祐定の代作)
  - 刀 銘 加賀介祐永
  - 太刀 銘 今泉俊光
- 〈会期〉 2月6日(水)～3月24日(日)  
月曜休館

〈次回〉(予定)  
「赤羽に集められた刀剣展」  
3月27日(水)～4月21日(日)

### ■春日大社宝物館

〒630-8212 奈良市春日野町160 ☎0742-22-7788

#### 春日権現験記―絵巻の中のファッションと暮らし

全20巻に及ぶ華麗な「春日権現験記絵巻」の中から、ファッションや中世の人々の生き生きとした暮らしの様子をクローズアップして楽しく読み解きます。併せて春日大社に伝わる装束や宝物、祭の道具を展示、絵巻の中のファッションと暮らしの実際を身近に感じていただきます。

注目のテーマは、貴族のファッション、庶民のファッション、中世の食事と飲酒、眠りと夢、仕事と暮らしの楽しみ、などです。

#### 〈主な出品物〉

- 春日本 春日権現験記 全20巻
  - 調度品 根古志形鏡台・獅子時絵箱
  - 箱・黒漆塗灯台
  - 装束(ファッション) 赤糸威大鎧(国宝)・黒漆平文飾剣(国宝)・冠、烏帽子各種・束帯・狩衣・水干・直垂・十二単(女房装束)・桂袴装束
  - 飲食具 雄蝶・雌蝶・高環および神饌模型
  - 仕事 斬始道具
- 〈会期〉 1月17日(木)～4月14日(日)  
会期中無休

### ■三河武士のやかた家康館

〒444-0052 愛知県岡崎市康生町561 ☎0564-24-2204

#### 岡崎藩抱え刀鍛冶 磯谷氏とその周囲

磯谷(いそや)氏は江戸時代後期、岡崎藩主本多家に刀鍛冶として仕え、吉正(よしまさ)・吉達(よしさと)・吉光(よしみつ)の3代

にわたり江戸にて作刀し、岡崎城の別称「龍城」にちなみ「龍城臣」の銘を切りました。初代吉正は本多家13代忠顕(在位1790～1821)に仕え、

2代吉達は重助・達次とも称し、津山藩(岡山県)の刀工細川正義の門人と伝えられます。3代吉光は岡崎藩の剣術師範としても活躍し、藩主より「有技(ゆうぎ)」の号を与えられました。本展では、当館所蔵の磯谷吉達作の刀を中心に、江戸期の三河在住の刀工作の刀を併せて紹介します。

#### 〈主な展示作品〉

- 脇指 銘 作陽幕下士細川正義(刻印) / 天保八丁酉年二月日 龍城臣吉達彫作
  - 脇指 銘 龍城臣吉達作 / 安政四年八月日
  - 脇指 銘 龍城臣吉達作
- 〈会期〉 3月8日(金)～6月5日(水)  
会期中無休

### ■土浦市立博物館

〒300-0043 茨城県土浦市中央1丁目15-18 ☎029-824-2928

#### 開館25周年記念 第34回特別展 「婆娑羅たちの武装―戦国を駆け抜けた武将たちの甲冑と刀剣―」

群雄割拠の戦国時代、戦場で身を守るための甲冑には、武将たちの美意識や主張が表現されていました。軍勢がぶつかり合う集団戦の中では、自己をいかに目立たせるかが重要であるため、兜には大型の前立を挿したり、奇抜な「変り兜」を被って戦に挑みました。一方、武将が所持していた刀剣は、愛刀であったり、戦の恩賞であったりなど、さまざまな逸話が伝えられています。

この展覧会では、戦国期に活躍した名だたる武将たちや、彼らを藩祖とする近世大名家に伝わった甲冑や刀剣を一堂に展覧します。織田信長の台頭から豊臣秀吉の天下統一、そして徳川家康による江戸幕府の成立

まで、戦国を駆け抜けた武将たちの奇抜で斬新な武装を通して、そこに込められた美学と物語を紹介します。

#### 〈展覧の構成〉

- 第I章 信長の台頭  
―天下統一への幕開け―
- 第II章 秀吉の遺臣たち  
―西軍の武将―
- 第III章 家康とその家臣たち  
―東軍の武将―
- 第IV章 時代を見据えた男たち  
―秀吉と家康の狭間で―
- 第V章 武将たちの備え

〈会期〉 3月16日(土)～5月6日(月) 月曜および4月9日(火)・23日(火)・30日(火)休館。ただし4月22日・29日、5月6日は開館



### ■大阪歴史博物館

〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32 ☎06-6946-5728

#### 特別展「幽霊・妖怪画大全集」

幽霊や妖怪は古来より想像され、江戸時代以降は特に文学や芸術において盛んに取り上げられ、多様な作品が作り出されます。

それらを精力的にコレクションしたのが、日本画家の吉川観方(よしかわ・かんぼう)(1894～1979)です。観方は服飾の歴史や時代風俗の研究者としても知られ、研究の途上において日本の幽霊や妖怪にも関心を持ち、資料の収集に没頭しました。

本展では、現在は福岡市博物館に所蔵される観方の収集品から、江戸時代に活躍した伊藤若冲(いとう・

じゃくちゅう)や円山応挙(まるやま・おうきょ)らの著名な絵師をはじめ、個性的な浮世絵師として人気のある歌川国芳(うたがわ・くによし)とその一門が描いた幽霊や妖怪画の優品を多数紹介します。

また、大阪ゆかりの幽霊や妖怪にまつわる歴史的な資料も展示し、人々が未知の世界に対してどのような観念を持ち、表現したのかをご覧ください。

#### 〈展示構成〉

- プロローグ
- 第1章 幽霊画の世界  
(1) 肉筆幽霊画  
(2) 歌舞伎の幽霊画
- 第2章 妖怪画の世界  
(1) 百鬼夜行と妖怪図巻  
(2) 鬼  
(3) 天狗  
(4) 人間  
(5) 妖怪動物園  
(6) 実録 化物退治

特別出品 大阪の幽霊と妖怪  
〈会期〉 4月20日(土)～6月9日(日)  
火曜休館



歌川国芳「相馬の古内裏」(福岡市博物館蔵)